

横河電機株式会社 主催 ライブセルイメージング技術セミナー 『発生・再生研究 リアルタイム観察への展開』 ～ 低褪色長時間観察を可能にする高精細共焦点観察法とその応用 ～

セミナー： 2009年 6月17日（水） 13:30～
理化学研究所 神戸研究所 C棟1階 オーディトリウム
実習デモ： 17日15:30～、18、19日（木、金）終日
理化学研究所 神戸研究所 A棟2階 共通実験室1

近年の生体蛍光染色（発現）技術の普及と共に、生命現象や生体反応の細胞内分子レベルでの観察は、ライフサイエンス研究に必須のものとなっています。
今回のセミナーでは、特に発生再生研究におけるイメージングで課題とされてきた試料へのレーザー損傷や蛍光褪色、光毒性を克服するニポウディスク型の共焦点方式を中心に簡便且つ高速に分子レベルの3D/4Dでの多色観察が可能なシステムの原理から応用例をご案内します。実習デモでは実際に蛍光染色生細胞や固定試料の実機観察を行い、システム提供ならではの操作性・高速性がご体感いただけます。

*実際に皆様の試料を観察する時間も設定しておりますので、試料持込観察を希望される方は、是非、事前ご予約ください。（試料形状は、35mmガラスボトムディッシュまたはスライドグラスでお願いします。また、観察データ持ち帰りの場合は、必ずウイルスチェック済みのUSB式HD等を持参下さるようお願いいたします。）

併せて本装置のメリットを生かしたハイスループット細胞機能探索システム もご紹介致します。

セミナー概要

■プログラム

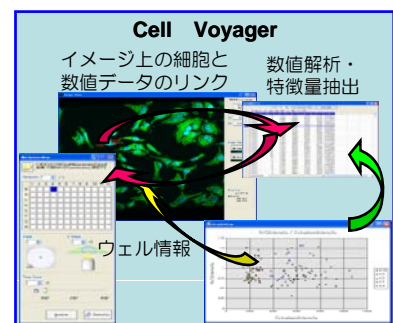
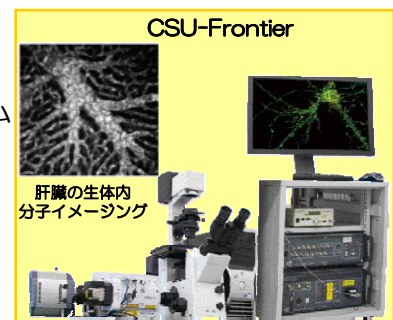
【ニポウディスク型共焦点観察法のご案内】

日時 6月17日(水) 13:30～
場所 理化学研究所 神戸研究所 C棟1階オーディトリウム
・ニポウディスク型共焦点顕微鏡システムとは？
・製品説明
共焦点顕微鏡システム CSU-Frontier
ハイスループット細胞機能探索システム Cell Voyager

・ユーザーより活用事例紹介
「発生に影響のないマウス初期胚長時間6次元イメージング技術」
ゲノム・リプログラミング研究チーム 山縣 一夫 先生

【実習デモ】

・共焦点顕微鏡システムによる観察
レーザー波長 405・488・561nm を予定
可能な観察 細胞内カルシウムの動的観察
GFP, mRFPの4Dタイムラプス観察など
日時 6月17日(水) 15:30～、18、19日(木金)終日
場所 理化学研究所 神戸研究所 A棟2階 共通実験室1
説明員 横河電機株式会社 北川 祐也



実習デモのお申し込み方法（*セミナーの参加申し込みは不要です。直接会場へお越しください。）
・電子メールでSubjectに「CSU」とし、「所属講座名」「氏名」「電話番号（内線番号）」「電子メールアドレス」「希望日時」「持込サンプルの有無」を明記の上、yamagata@cdb.riken.jp 宛にお申し込みください。
実習は1グループ(4～5人)1時間とさせていただきます。予約調整のため希望日時は複数明記ください。
・連絡先 ゲノム・リプログラミング研究チーム 山縣 一夫 (078-306-3049 内線4401)

YOKOGAWA ◆

横河電機株式会社
通信・計測事業部 バイオ・アナリティカルセンター創薬・バイオ Gr
TEL 076-258-7028 FAX 076-258-7029
E-mail CSU@CSV.yokogawa.co.jp
Home page <http://www.yokogawa.co.jp/scanner>

理化学研究所 神戸研究所
研究推進部 遠山陽子
TEL 078-306-3010 FAX 078-306-3039
E-mail yoko-t@cdb.riken.jp